

⑯ポイ捨て探偵団

実施時間	45分×2コマ	対象学年	全学年対応
活用单元例 (指導要領)		<p>【小学校高学年】</p> <p>社会・公害と国民の健康・生活環境 理科・生物と環境 家庭科・家族や近隣の人々とのかかわり・快適な住まい方 特活・学校や学校の生活づくり 体育・地域の保健活動</p>	
		<p>【中学校】</p> <p>社会・私たちと国際社会の諸課題・日本の諸地域（環境問題・環境保全）・身近な地域調査 理科・生物と環境 技術・家庭科・家庭生活と環境 特活・学校や学校の生活づくり 道徳・社会の秩序と規律</p>	
		<p>【高等学校】地歴公民</p>	
○概要○		<p>学校周辺のポイ捨てごみを調べ、どのようなものがどのような所に落ちているかを調査することで、ポイ捨てに関する問題点とその対策を考える。</p>	

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ ○児童の活動 ★講師・教員が実施	学習のねらい	必要な教具・教材 ／★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“ポイ捨てごみ”に関わる問い合わせ。 「ポイ捨てをしたこと/見たことがあるか?」、「どのような所に多いか?」など。	○“ポイ捨て”に関する関心を引き出す。	
展開1 (30分)	○ポイ捨て調査！ ★グループに分かれ、学校周辺のポイ捨てごみを調査。 →調査項目：ごみの種類、量、場所。	○学校周辺のポイ捨て状況を把握する。	・ワークシート
展開2 (10分)	○まとめてみよう！ ★グループごとにポイ捨ての多かった種類、場所のワースト3を決める。 →気づいた点等を共有し、ワースト3を決定する。 →理由も含めて共有する。	○ポイ捨ての傾向に気づく。	
展開3 (30分)	○ゴミストーリーを考えよう！ ★ワースト3の3種類のごみが、どのようにしてポイ捨てされたのか、物語を考える。	○ポイ捨てされる背景に気づく。	・ワークシート
展開4 (15分)	○ポイ捨て対策を考えよう！ ★ゴミストーリーを考えることから、ごみのポイ捨てをなくすにはどうしたらいいのか考える。	○ポイ捨て対策を考える。	・ワークシート

ご
み

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	・ポイ捨てがなくなるように周辺環境を整える。 ・地域への啓発活動を行う。	ポイ捨てやごみの現状を理解し、改善に向けた情報発信を行う。
	・資源としての再利用を考える。	ごみを資源として考え、循環できる仕組みを考える。
	・すぐにごみになる梱包について調べる。 ・消費活動の見直し。	ごみの発生量を意識し、ごみの減量化に着目する。

○情報リンク○

・沖縄県不法投棄実態報告 [情報 グラフ](#)

(<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/h22fuhoutoukijittaitousa.html>)

・沖縄県ちゅら島環境美化条例 [情報](#)

(<https://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/ippan/chura-zyourei.html>)

ご
み

ポイ捨て 探偵団 たんていだん

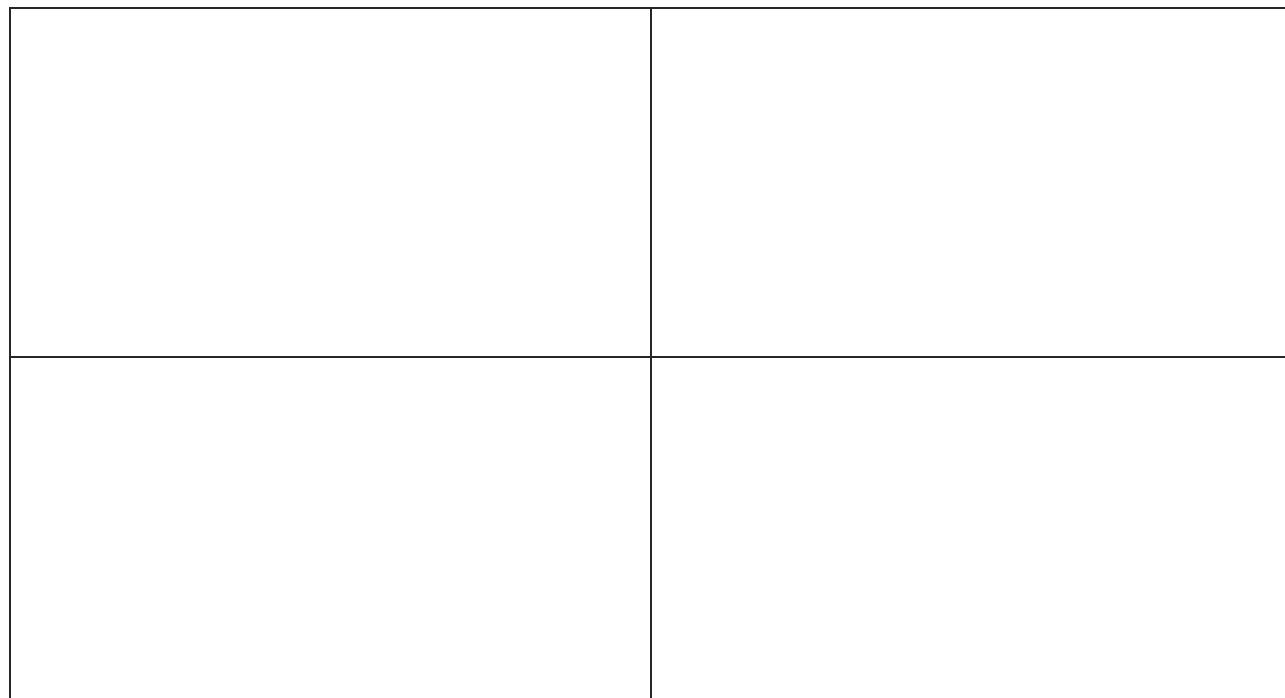
ワークシート

●ポイ捨てごみ調査

ゴミの種類	量	場所	気づいたこと

ご
み

●ゴミストーリーを4コマ漫画にしてみよう！



●ポイ捨て対策を考えよう！

ポイ捨て探偵団（指導用解説）

【ポイ捨て調査の注意点】

*服装・・・スニーカー（サンダル等NG）、長そで長ズボン、軍手、帽子

*水分補給・・・調査中の熱中症に気を付けよう

*分別・・・回収したごみは、地域のごみ捨てルールに従って処分しよう

●ワークシート記入例●

ポイ捨て探偵団 ワークシート

●ポイ捨てごみ調査

ゴミの種類	量	場所	気づいたこと
ペットボトル	12	校庭沿いの溝	新しいのから古いものまであつた
空き缶	5	花壇の草むら	ポイ捨てというより置いてある感じ
たばこの吸い殻	30	交差点の信号付近	フィルターだけ残っている
お菓子の袋	4	草むら	飴やガム紙が多い
ビニール袋	5	排水溝	買い物袋やコンビニの袋

●ゴミストーリーを4コマ漫画にしてみよう！



●ポイ捨て対策を考えよう！

- ・ごみを捨てづらくするためにきれいにしておく。
- ・看板を設置する。
- ・監視カメラを付ける。

⑯ごみの行方・・・

実施時間	45分	対象学年	小学5年生以上
活用单元例 (指導要領)	<p>【小学校高学年】</p> <p>社会・公害と国民の健康・生活環境 理科・生物と環境</p> <p>家庭科・家族や近隣の人々とのかかわり・快適な住まい方</p> <p>特活・学校や学校の生活づくり</p> <p>体育・地域の保健活動</p> <p>【中学校】</p> <p>社会・私たちと国際社会の諸課題・日本の諸地域（環境問題・環境保全）・身近な地域調査 理科・生物と環境</p> <p>技術・家庭科・家庭生活と環境 特活・学校や学校の生活づくり 道徳・社会の秩序と規律</p> <p>【高等学校】地歴公民・理科・家庭</p>		
○概要○	学校地域のごみ処理について調べ、“ごみ”を分別する理由を考えることで、“ごみを出す”事への責任を意識づける。		

ご
み

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ ○児童の活動 ★講師・教員が実施	学習のねらい	必要な教具・教材 ／★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“ごみ”に関わる問い合わせ。 「分別している?何種類に分ける?」など。	○“ごみ”への関心を引き出す。	
展開1 (15分)	○ゴミの分別を比べてみよう! ★市町村の発行するごみ分別表を2~3種類準備する。 →自分の地域とほかの地域の違いを見つける。 →分別数、出し方、回収方法等。 ※指導用参照	○ごみの分別について考える。	・ワークシート①
展開2 (15分)	○その先を考えよう! ★回収されたごみはどうなるかを予想し、分別する理由を考える。 →回収後それぞれどのようになるのか予測する。 →分別する理由を考える。	○分別の理由を理解する。	・ワークシート②
展開3 (10分)	○ゴミの未来を考えよう! ★自分の地域のごみの現状を理解し、減らすための対策を考える。 →地域のごみ回収状況を説明。 →ごみの未来について考える。	○ごみについて考え、ごみを出す責任を意識する。	・ワークシート③

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	・ごみ拾い活動等の地域の取り組みに参加する。 ・地域への啓発活動を行う。	ごみの現状を理解し、減量に向けた情報発信を行う。
	・資源としての再利用を考える。 ・ごみ処理場を見学にいく。	ごみを資源として考え、循環できる仕組みを考える。
	・すぐにごみになる梱包について調べる。 ・消費活動の見直し。	ごみの発生量を意識し、ごみの減量化に着目する。

○情報リンク○

- 沖縄県 ごみ・リサイクル 情報 (<https://www.pref.okinawa.jp/site/kurashi/gomi/index.html>)

ごみの行方… ワークシート①

•ごみの分別を比べてみよう！

ご
み

地域名			
分別の分類数			
回収方法			
回収回数			
良い所			
悪い所			

•回収されたごみはどうなる？

もやすごみ	
もやさないごみ	
資源ごみ	
粗大ごみ	

ごみの行方… ワークシート②

地域のごみの量：

地域のごみ問題：

（ごみ対策を考えよう！）

*ごみの未来はどうなってほしい？

ご
み

*そのためには、どんなことをしたら良いだろう？

*地域のみなさんに協力してもらうためには？

ごみの行方…（指導用解説）

●ワークシート記入例●

ごみの行方…ワークシート ①

●ごみの分別を比べてみよう！

地域名	那覇市	名護市	宮古島市
分別の分類数	大きく5つ（資源9つ）		
回収方法	指定のごみ袋 束ねる		
回収回数	燃やすゴミ 週2回 燃やさない、有害、資源、粗大 週1回		
良い所	資源ごみが9つに分かれている		
悪い所	指定のごみ袋がビニール		

●回収されたごみはどうなる？

もやすごみ	焼却炉でもやす
もやさないごみ	細かくして埋める
資源ごみ	資源ごとに分けて再生紙やリターナブルボトルとなる
粗大ごみ	使えそうなものはリペア後、希望者へ

ごみの行方… ワークシート ②

地域のごみの量：那覇市の家庭系ごみ1年間に約 63,077 t (H28 那覇市環境部廃棄物対策課)

地域のごみ問題：家庭ごみだけでなく、産業ごみや観光客によるごみが多い。

【ごみ対策を考えよう！】

*ごみの未来はどうなってほしい？

- ・ごみの量が減ってほしい。
- ・地球にやさしい地域になってほしい。

*そのためには、どんなことをしたら良いだろう？

- ・一人ひとりがごみの量を減らす生活を心がける。
- ・環境をよくするために地域の人と協力する。

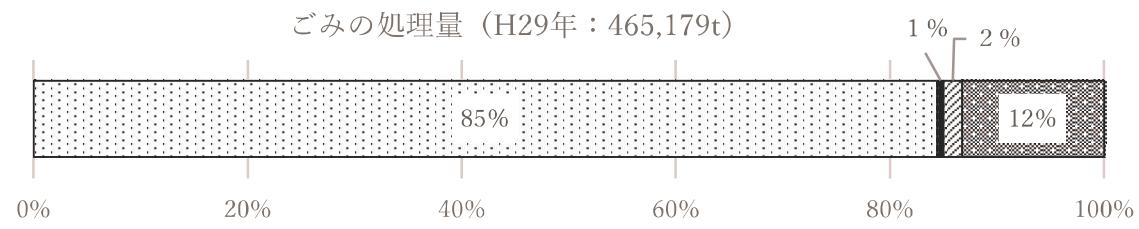
*地域のみなさんに協力してもらうためには？

- ・声かけ、看板等を設置する。
- ・自分から行動する。

※自治体により分別方法が異なるため、複数の自治体から分別方法の表を取り寄せ比較してみよう！

【沖縄県のごみの状況】(H29 環境省 一般廃棄物処理実態調査)

● 1日に県民一人当たり 868g のごみを排出 ●



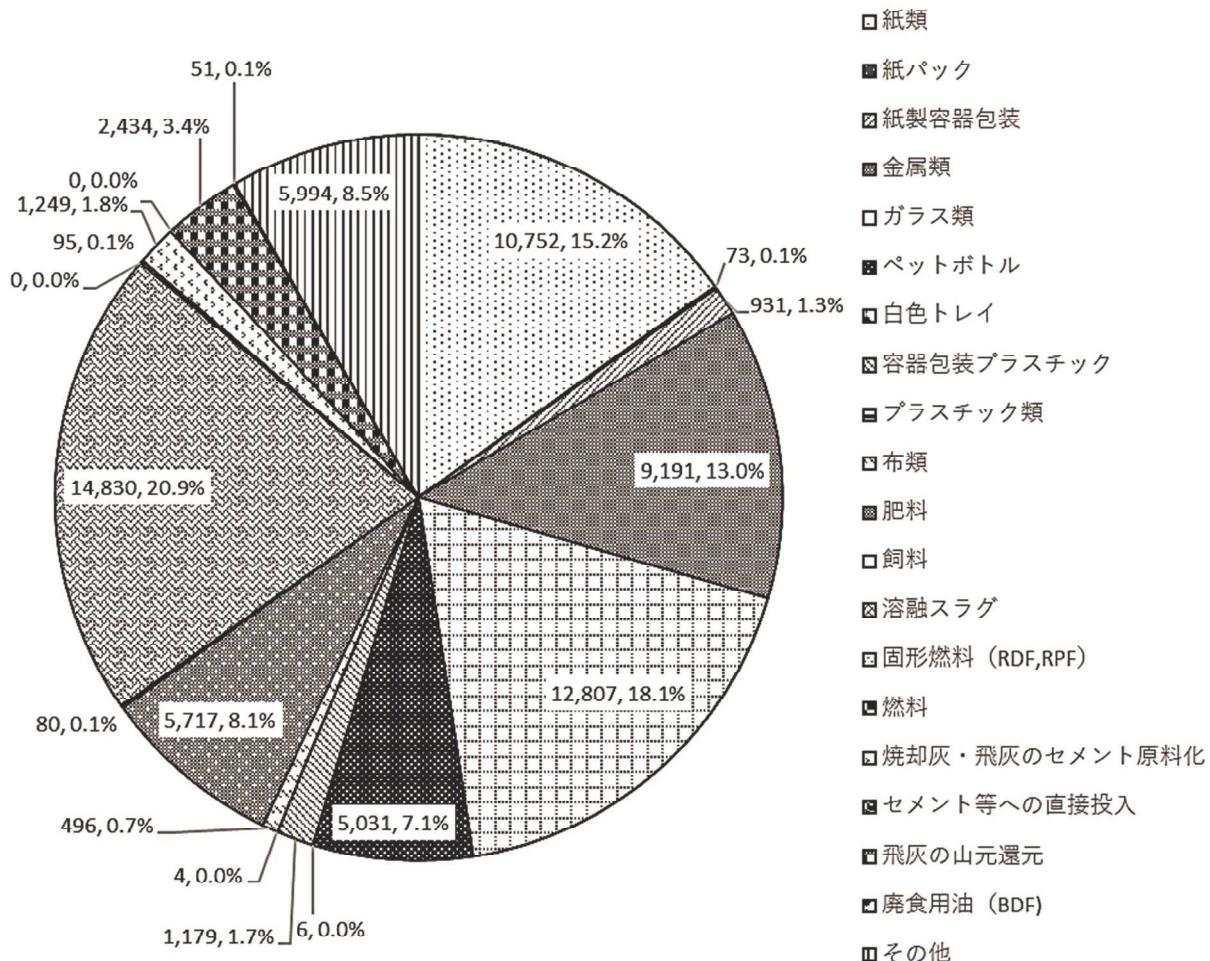
ごみの処分量(t)	
■ 焼却	394,273
■ 埋め立て	2,847
■ 資源利用	7,952
※ 中間処理	62,037

【資源ごみの状況】

(H29 環境省 一般廃棄物処理実態調査 沖縄県)

資源化量(t,%)

(直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量)



⑯プラスチックな毎日

ご
み

実施時間	45分	対象学年	全学年対応
活用单元例 (指導要領)	【小学校高学年】		
	社会・公害と国民の健康・生活環境		
	理科・生物と環境		
	家庭科・家族や近隣の人々とのかかわり・快適な住まい方		
	特活・学校や学校の生活づくり		
	体育・地域の保健活動		
【中学校】			
社会・私たちと国際社会の諸課題・日本の諸地域（環境問題・環境保全）・身近な地域調査			
理科・生物と環境			
技術・家庭科・家庭生活と環境			
特活・学校や学校の生活づくり			
【高等学校】地歴公民・理科・家庭			
○概要○	日常生活において“プラスチック製品”が大量にあることに気づき、使用を減らすことができるか考える。		

○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ ○児童の活動 ★講師・教員が実施	学習のねらい	必要な教具・教材 ／☆留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →プラスチックに関わる問い合わせ。 「プラスチックってどんなもの？」など。	○プラスチックに 関わる関心を引 き出す。	
展開1 (15分)	○プラスチックを探してみよう！ ★教室の中にあるプラスチック製品を探す。 →自分の所持品や学校の備品等から探す。 →どんなものがあるか発表する。	○身の回りのプラ スチック製品に 気づく。	・ワークシート
展開2 (15分)	○代用品を考えよう！ ★プラスチック製品の代用品を考える。 →先に挙げたプラスチック製品をどのようなもので 代用できるか考える（代わりになるものや素材の 変更等）。	○分別の理由を理 解する。	・ワークシート
展開3 (10分)	○プラスチックと共に存するには？ ★プラスチックの特性とごみになった時の影響を理 解し、プラスチックとの付き合い方を考える。 →プラスチックの長所・短所を解説し現状を知る。 →どのようにしていくべきか提案する。	○プラスチックの 未来を考え、削 減を検討する。	・ワークシート

○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	・地域（企業・行政）の取り組みを調べる。 ・地域への啓発活動を行う。	プラスチックの現状を理解し、改善に向けた情報発信を行う。
	・再生可能な代替品を調べる。 ・プラスチックの代替品への転換を考える。	再生プラスチックの現状やバイオプラスチックについて調べる。
	・プラスチックの生態系への影響を調べる。 ・野生動物への被害を知る。	プラスチック製品による生態系への影響 を学ぶ。

○情報リンク○

- ・環境省 プラスチックを取り巻く国内外の状況 情報 画像 グラフ
(<https://www.env.go.jp/council/03Recycle/y0312-05/y031205-s1r1.pdf>)

プラスチックな毎日 ワークシート



教室の『プラスチック製品』を探してみよう！

どんなもの？	利用方法	代わりになる材料
例) 定規	長さを測るもの	竹、木



『プラスチック製品』を考えてみよう！

長所	
短所	
影響	



『プラスチック製品』との付き合い方を考えよう！

プラスチック製品のいい所・悪い所や、環境への影響が分かったので、これからどのようにプラスチック製品を利用していかか考えてみよう。

プラスチックな毎日（指導用解説）

●ワークシート記入例●

プラスチックな毎日 ワークシート

✿ 教室の「プラスチック製品」を探してみよう！

どんなもの？	利用方法	代わりになる材料
定規	長さを測るもの	竹、木
ペン	字や絵をかくもの	鉛筆（木）
ファイル	プリントを入れるもの	封筒（紙）
ごみ箱	ごみを入れるもの	段ボール、木

✿ 「プラスチック製品」を考えてみよう！

長所	軽い、安い、壊れにくい
短所	使い捨て、直せない、石油を使う
影響	ごみが増える、石油資源がなくなる、二酸化炭素が増える

✿ 「プラスチック製品」との付き合い方を考えよう！

プラスチック製品のいい所・悪い所や、環境への影響が分かったので、これからどのようにプラスチック製品を利用していくか考えてみよう。

- ・用途により素材を考える。例えば、衛生面で使い捨てが必要な場合はプラスチック製など。
- ・日常生活でプラスチックに代わる製品を選ぶ。
- ・使い捨てを減らす。

ご
み

【プラスチック対策の世界的動き】

日本

●第四次循環型社会形成推進基本計画（平成30年6月）

●プラスチック資源循環戦略（令和元年5月）

- ①プラスチックの使用合理化（レジ袋有料化等）
- ②プラスチックの再生可能資源への切り替え
- ③プラスチックの長期間使用
- ④分別収集の徹底、循環利用及びバイオマス素材の導入
- ⑤海洋への流出防止を鑑みポイ捨ての撲滅及び清掃活動の推進
- ⑥途上国等へ廃棄物に係るノウハウを輸出…等

（引用：環境省プラスチック資源循環戦略 令和元年5月31日）

<https://www.env.go.jp/press/106866.html>

ご
み

EU

●プラスチック戦略（2018年1月 欧州委員会）

（1）プラスチックリサイクルの経済性と品質の向上

- ・ヨーロッパは2030年までにすべてのプラスチック容器包装をコスト効果的にリユース・リサイクル可能とする
 - ・企業に再生材利用の約束を促すキャンペーン
 - ・再生プラスチックの品質基準の設定
 - ・分別収集と選別のガイドライン
- （2）プラスチック廃棄物と海洋ごみの削減
- （3）循環型経済に向けた投資と技術革新の拡大
- （4）国際的なアクションの醸成

中国

・中国はこれまで世界から年間約700万トンのプラスチック廃棄物を輸入。

・日本は年間約150万トンのプラスチックくずを海外に輸出。このうち約75万トンが中国向け。

2017年7月 「固体廃棄物輸入管理制度改革実施案」を公表

→2017年末までに環境への危害が大きい固体廃棄物の輸入を禁止

→2019年末までに国内資源で代替可能な固体廃棄物の輸入を段階的に停止

2017年8月 非工業由来の廃プラスチック（8品目）、廃金属（バナジウム）

くず（4品目）など4類

24種の固体廃棄物を「固体廃棄物輸入禁止目録」に追加

2018年4月 固体廃棄物の段階的な輸入停止方針を公表

→2018年12月末に工業由来の廃プラスチック、廃電子機器、廃電線・ケーブル等の輸入を停止